

< 「親子で登る自立の坂道」期：「親が子離れできない」編 - 2 >

対象(時間): 中学・高校生の親(110分程度)

キャッチボールは得意ですか？～気持ちをつたえる 胸の真ん中でうけとめる～

【ねらい】進路選択を巡る親子のロールプレイをとおして、子どもと気持ちを通じ合うことの難しさと大切さを学ぶ。

【準備物】学習者：筆記用具

主催者：名札、ワークシート、アンケート用紙、フェルトペン(裏写りしないもの)、模造紙、マグネットホワイトボード

時間	アクティビティの展開例	留意点	備考
：	名札付け(来た順に)	全員が名札をつける。(ニックネーム可)	スケジュールを板書しておく。
：	ファシリテーター(学習支援者)自己紹介、主旨・ルール等説明	和やかな雰囲気づくりに配慮する。 写真を撮る場合は、予め了解を取る。(肖像権)	・机は講義形式
：	アイスブレイク(雰囲気づくり) 「あなたは、Yes or No?」 部屋の隅に Yes と No の紙を貼る。 ファシリテーター(学習支援者)の質問に対して、参加者は制限時間内に Yes と No に分かれる。 ファシリテーター(学習支援者)は、参加者に Yes・No の理由等を尋ねる。	初対面の人同士の場合、自由に意見を出し合うためのウォーミングアップとする。 質問(例)「今朝、お子さんと会話をしましたか?」 「最近、お子さんと親子喧嘩をしましたか?」「最近、お子さんの下着を買っているのは親(Yes)ですか?子ども自身(No)ですか?」など 最後にグループ分けし、自己紹介も行う。 (その間にワークシートを配付する。)	・机を撤去 ・グループ数に応じて、机を配置
：	<2人1組で演じましょう> ロールプレイ 2人1組が、親役・子役に分かれる。 場面設定を黙読する。 アを声に出して読む。 と同じペア・同じ役で、親役・子役に分かれて、イを声に出して読む。 (～で15分)	2人1組の親子ペアをつくり、親役には親用の、子役には子用のシナリオを渡す。 (シナリオは見せ合わない) 各自がシナリオを黙読。(場の情景が思い浮かぶまで読みこむ。)その後、役に分かれてロールプレイする。 最初からワークシートを配らず、親子のセリフは別々にコピーしてお互い見せないように渡し、親子の日常会話を1分間した後で、合図とともにシナリオに入って行く...といったように、工夫する。	
：	<考えましょう、出し合ひましょう> グループで話し合い(45分) 演じてみての感想(P2中) わが子とのコミュニケーションで「大切にしていること」「気をつけていること」(P2下) グループごとに発表(10分)	三つの約束(発言の平等、人の発言を肯定、秘密の保守)、ただし、言いたくないことは発表しなくてもよい。(パス有り) シナリオをお互いに見せ合ってもよい。 模造紙に書いていくと整理ができてよい。	
：	<学習を振り返りましょう> ワークシートへの記入 ファシリテーターの話		
：	終了・片付け アンケート記入	参加者全員で行う。 アンケート記入者から流れ解散	・現状復帰

メモ